

# Information

No.2022-10 Date 2022.2

## 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、試薬添付文書に合わせ報告範囲(下限値)を変更させていただきます。

なお、この変更に伴うその他の受託要領の変更はございません。

先生方には急なお知らせで大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白



### 項目名

Information No.2021-43 にてご案内

### ● 血中遊離メタネフリン分画

(依頼コード No.13390)

変更日 2022年3月1日(火) ご依頼分より

裏面に続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

## 受託要領

	新	従来
依頼(報告)コード No.	13390(親) 血中遊離メタネフリン分画 ----- (子)22617 血中メタネフリン (子)22618 血中ノルメタネフリン	同左
統一コード	4E041-0000-022-021	同左
検体必要量	血漿(EDTA2Na) 1.0mL	同左
容器	B-7→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	4~10	同左
検査方法	EIA法	同左
基準値	褐色細胞腫のカットオフ値 メタネフリン : 130.0以下 ノルメタネフリン : 506.0以下	同左
単位	pg/mL	同左
報告範囲	メタネフリン 13.0未満~3600.0以上 ノルメタネフリン 30.0未満~7200.0以上	メタネフリン 20.0未満~3600.0以上 ノルメタネフリン 35.0未満~7200.0以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	320点/144点(生化学的検査(Ⅱ)) ----- 褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記載すること。メタネフリン、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。	同左
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定値が上昇するおそれがあるため、仰臥位(ぎょうがい)にて20分間安静にした後に採血してください。</li> <li>著しい溶血や乳びが認められる検体は不可です。(特に溶血血漿は低値となる可能性があります。)</li> <li>COMTによるドーパミン代謝物である3-methoxytyramineが著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。</li> <li>セロトニン、ノルアドレナリン再取込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO阻害剤、L-DOPA、交感神経刺激剤等の薬物投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。</li> </ul>	同左